

「つなげよう、支えよう森里川海」ミニフォーラム in長野

「企業による生物多様性保全の取り組み ～従業員による森と川の保全～」

平成28年1月24日

株式会社八十二銀行

総務部環境室 坂本 智徳

1-1. 八十二銀行の環境保全活動

豊かな自然環境に恵まれた長野県に基盤を置く当行は、環境に配慮し、自然環境と共存しながら地域社会とともに発展することを目的に、従前より環境問題への取組みを進めています。

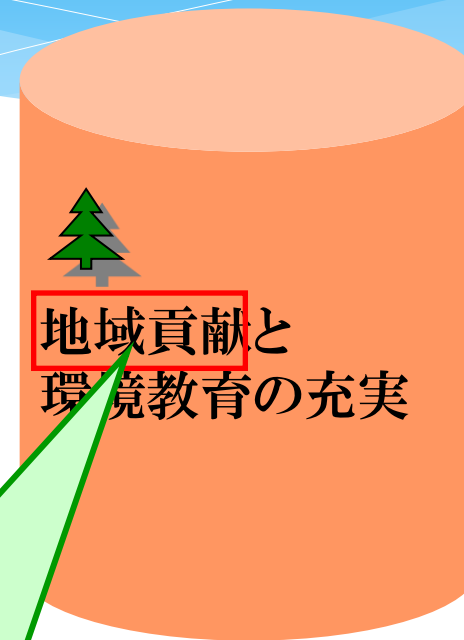
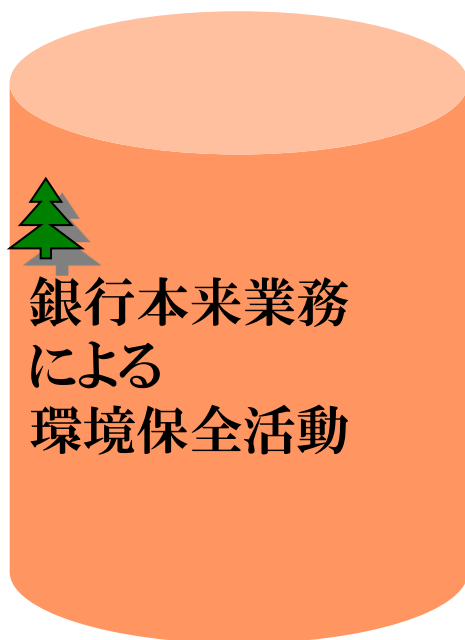


当行環境保全活動の歴史

- ★平成11年：地銀初「ISO14001」認証取得 ★平成17年：銀行界で初めて環境会計を導入
- ★平成17年：地球温暖化防止活動環境大臣賞を銀行で初めて受賞
- ★平成22年：国土交通大臣表彰（平成22年度交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰）を金融機関で初めて受賞
- ★平成25年：「平成24年度長野県ふるさとの森林づくり賞 長野県知事賞」受賞

1-2. 八十二銀行の環境保全活動

★八十二銀行の環境活動の三つの柱



地域貢献活動の一つとして
「生物多様性保全活動」を実施

1-3. 八十二銀行の環境保全活動

★生物多様性基本姿勢(平成23年7月1日制定)

生物多様性保全 基本姿勢

目的

八十二銀行グループは、自然豊かな長野県に基盤を置く地方銀行グループとして、自然の恵みである生物多様性の重要性を認識し、その保全に努めます。

1. 自然の恵みに感謝し、生物多様性保全についての理解を深めます。
2. 生物多様性保全と事業活動の調和を目指し、環境負荷低減に努めます。
3. 地域の生物多様性保全活動に積極的に取り組みます。
4. 生物多様性の取組みに関する情報の適切な発信に努めます。

2-1. 「八十二の森」活動

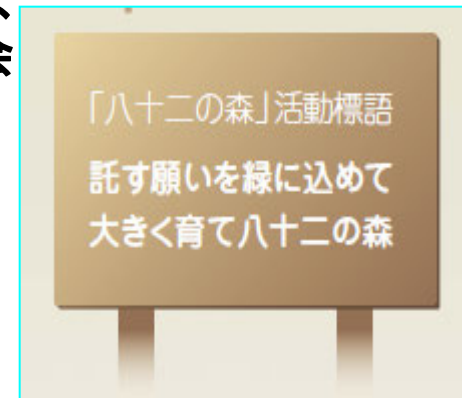
◆「八十二の森活動」の概要

【目的】

- (1) 長野県の森林整備を行うことにより、私たちのふるさとの森を守るとともに、森林によるCO2吸収効果を高め、地球温暖化防止に貢献する。
- (2) 森林整備活動を通じて職員への環境教育を行い、森林の大切さと森林からの恵みについて学ぶ機会とする。
- (3) 森林整備活動を通じて、私たちの基盤である長野県の環境改善に貢献する。

【活動内容】

- (1) 長野県が実施している「森林の里親促進事業」を利用し「八十二の森」を実施する。
- (2) 間伐費用等の寄付を行うとともに、職員による森林整備活動を実施する。



2-2 「八十二の森」活動

◆「八十二の森」活動拠点

参加人数
平成25年度 780人
平成26年度 923人

- ★長野市大座法師池の森
- ★上田市菅平の森
- ★松本市美鈴湖の森
- ★下諏訪町いずみ湖の森
- ★飯田市大平峠県民の森

主な活動内容



■間伐

長野県の県土の8割が森林で占められておりますが、林業の担い手減少・木材利用の減少等により、間伐されていない森林が増加しております。こうした森林の間伐することで、残された木が強く、大きく成長し、健全な森づくりにつながります。

■下草刈り

ササ類など樹木の生育の支障となる草木を刈り取り、森林の成長を促します。

■植樹

新たな樹木の育成により、CO₂吸収につなげます。



■食害防止ネット巻き

樹木にネットを巻き、シカが樹皮を食べる害を防ぎます。



【「八十二の森」活動拠点】



2-3. 「八十二の森」活動

◆「八十二の森活動」の実施風景



3-1. 環境ボランティア活動

◆環境ボランティア活動の取り組み

「環境ボランティアに積極的に取り組み、平成26年度は各地での森林整備・清掃活動など、延べ4,407名の役職員が環境ボランティア活動に参加しました。



北信地区植樹祭



松本市市民の森整備
ボランティア



善光寺の森下草刈りボランティア

4-1. ネーミングライツの取得

◆ 森林学習館のネーミングライツを取得

戸隠森林植物園内にある森林学習館のネーミングライツ(命名権)を取得し、森林学習館の名称を「八十二森のまなびや ~ecology Bank82 戸隠森林館~」としました。

当行は、環境保全活動をCSRの根幹と位置づけ、生物多様性の保全に努めています。森林学習館の取組みは、当行の目指す環境教育や生物多様性保全の考え方に合致し、当行創立82周年を記念した地域貢献活動の一環として取得に至りました。

今後は、長野県の自然の素晴らしさを県内外に伝え、より積極的に環境保全活動に取り組んでまいります。



「八十二森のまなびや ~ecology Bank82 戸隠森林館~」



除幕式

5-1. 特定外来生物の駆除

◆ 特定外来生物「アレチウリ」駆除ボランティアの実施

生物多様性保全活動の一環として、平成26年度より特定外来生物「アレチウリ」の駆除ボランティアを実施いたしました。7月～9月にかけて、小諸市、駒ヶ根市において合計3回のボランティアを実施し、延べ67名の役職員が参加いたしました。

